

# がんの病状説明 (bad newsの伝え方・ いわゆる告知) についてのアンケート結果

鹿児島緩和ケア・ネットワーク執行部  
三木徹生

# 対象

鹿児島県のがんを扱っていると考えられる100床以上の75施設の医師。

# 回収率

アンケート送付施設	27/75施設(36.0%)
アンケート配布医師	440/657名(67.0%)

# 内訳

内科系:外科系:その他 = 200:206:34  
がんを頻繁に扱っている:その他 = 232:208

# 病状説明(告知について)についての本人の意志確認を、事前に調査用紙で行っていただけますか？

調査用紙で行っている。  
調査用紙は使用していない。

計(内 - 外 - 他)

120 ( 53- 59- 8) 27.3%

318 (146-147-25) 72.3%

P=0.916

調査用紙で行っている。  
調査用紙は使用していない。

計(頻繁 - 他)

120 ( 82-38)

318 (149-169)

P < 0.01

# 調査用紙を使用しておられる場合、調査用紙はいつ使用しておられますか。

	計(内 - 外 - 他)
外来初診時に行う。	59 (15-42-2)
入院時に行う。	47 (29-12-6)
外来初診時及び入院時の2段階で行う。	9 (5-4-0)
その他	2 (2-0-0)

内-外:P < 0.01

	計(頻繁 - 他)
外来初診時に行う。	59 (52-7)
入院時に行う。	47 (20-27)
外来初診時及び入院時の2段階で行う。	9 (7-2)
その他	2 (2-0)

P < 0.01

# 調査用紙を活用しておられる場合、どの程度の頻度で活用しておられますか。

必ず活用している。  
必要に応じて活用している。  
していない。

計(内 - 外 - 他)

66 (24-42-0)

48 (24-17-7)

1 ( 1- 0-0)

外-他:P < 0.01

必ず活用している。  
必要に応じて活用している。  
していない。

計(頻繁 - 他)

66 (59-7)

48 (23-25)

1 ( 0-1)

P < 0.01

# 調査用紙を使用されない場合、本人の意向(がん告知の希望)をどのようにして確認しておられますか。

口頭で直接本人に聞いている。

家族に本人は通常どのように考えていたかを聞く。

確認していない。

その他

計(内 - 外 - 他)

82 ( 33- 39-10)

244 (117-111-16)

39 ( 19- 17- 3)

20 ( 10- 9- 1)

P=0.855

口頭で直接本人に聞いている。

家族に本人は通常どのように考えていたかを聞く。

確認していない。

その他

計(頻繁 - 他)

82 ( 52- 30)

244 (107-137)

39 ( 24- 15)

20 ( 11- 9)

P < 0.05

# 病状説明(告知を行なう)に当たって、本人・ 家族の意向を確認しておられますか。

本人へいつもしている。	計(内 - 外 - 他)	
まず家族に意向を聞いて家族の意向に従う。	94 ( 35- 48-11)	21.4%
家族の意向を聞くが、説明者(医師)自身の意向の方へ	239 (113-108-18)	54.3%
家族を説得しつつ行う。	90 ( 40- 46- 4)	20.1%
意向は聞いていない。	15 ( 8- 6- 1)	3.4%

P=0.619

本人へいつもしている。	計(頻繁 - 他)	
まず家族に意向を聞いて家族の意向に従う。	94 ( 63- 31)	
家族の意向を聞くが、説明者(医師)自身の意向の方へ	239 (101-138)	
家族を説得しつつ行う。	90 ( 62- 28)	
意向は聞いていない。	15 ( 8- 7)	

P < 0.01

# まず、だれに病名を伝えておられますか。

	計(内 - 外 - 他)	
患者本人	60 ( 23- 32- 5)	13.7%
家族	244 (116-116-12)	55.5%
本人と家族一緒に	116 ( 52- 52-12)	26.4%
その他	20 ( 7- 10- 3)	4.5%

P=0.563

	計(頻繁 - 他)
患者本人	60 ( 43- 17)
家族	244 (103-141)
本人と家族一緒に	116 ( 78- 38)
その他	20 ( 12- 8)

P < 0.01

# 病状説明は原則として誰に行っておられますか。

	計(内 - 外 - 他)	
患者本人	30 ( 12- 15- 3)	6.8%
患者本人と家族	361 (167-172-22)	82.0%
家族	41 ( 17- 18- 6)	9.3%
家族以外で本人が認めた人	2 ( 0- 2- 0)	0.5%
その他	2 ( 1- 0- 1)	0.5%

P=0.697

	計(頻繁 - 他)
患者本人	30 ( 18- 12)
患者本人と家族	361 (210-151)
家族	41 ( 4- 37)
家族以外で本人が認めた人	2 ( 1- 1)
その他	2 ( 0- 2)

P < 0.01

# 本人以外への説明のとき、本人の了解を得ていらっしゃいますか。

はい(いつも)

家族以外の人へ説明する場合は了解を得る。

いいえ

計(内 - 外 - 他)

105 ( 42- 52-11) 23.9%

235 (111-111-13) 53.4%

87 ( 40- 39- 8) 19.8%

P=0.590

はい(いつも)

家族以外の人へ説明する場合は了解を得る。

いいえ

計(頻繁 - 他)

105 ( 58- 47)

235 (123-112)

87 ( 43- 44)

P=0.723

# 治療についての説明のときは、患者が選択できるように選択肢を提示しておられますか。

EBMに基いた標準的治療とそれに代わる治療法を提示する。  
自分の経験を優先する。  
選択肢は提示しない。

計(内 - 外 - 他)

386 (174-186-26) 87.7%

24 ( 12- 11- 1) 5.5%

11 ( 4- 4- 3) 2.5%

P=0.403

EBMに基いた標準的治療とそれに代わる治療法を提示する。  
自分の経験を優先する。  
選択肢は提示しない。

計(頻繁 - 他)

386 (212-174)

24 ( 14- 10)

11 ( 3- 7)

P=0.454

# セカンド・オピニオンについて説明しておられますか。

セカンド・オピニオンの権利や方法について説明している。  
求められれば説明している。  
説明していない。

計(内 - 外 - 他)

128 ( 65- 52-11) 29.1%  
288 (126-146-16) 65.5%  
21 ( 10- 7- 4) 4.8%

P=0.146

セカンド・オピニオンの権利や方法について説明している。  
求められれば説明している。  
説明していない。

計(頻繁 - 他)

128 ( 59- 69)  
288 (169-119)  
21 ( 8- 13)

P < 0.05

# その際、すすめておられますか。

積極的にすすめている。  
どちらかといえば、消極的。  
すすめない。

計(内 - 外 - 他)

241 (114-115-12) 54.8%

155 ( 67- 74-14) 35.2%

14 ( 5- 7- 2) 3.2%

P=0.652

積極的にすすめている。  
どちらかといえば、消極的。  
すすめない。

計(頻繁 - 他)

241 (139-102)

155 ( 74- 81)

14 ( 6- 8)

P=0.161

# 病名の説明について、どのように伝えておられますか。

計(内 - 外 - 他)

## 早期がんの場合

がん	232 (100-117-15)	52.7%
悪性腫瘍	82 ( 37- 43- 2)	18.6%
腫瘍	30 ( 15- 12- 3)	6.8%
たちの悪いできもの	35 ( 13- 20- 2)	8.0%
このまま放っておくとがんになる	30 ( 17- 9- 4)	6.8%
良性のできもの	5 ( 2- 1- 2)	1.1%
その他	19 ( 13- 4- 2)	4.3%

P=0.226

## 進行がんの場合

がん	166 (72-83-11)	37.7%
悪性腫瘍	119 (50-62- 7)	27.0%
腫瘍	48 (28-17- 3)	10.9%
たちの悪いできもの	67 (27-36- 4)	15.2%
このまま放っておくとがんになる	12 (10- 2- 0)	2.7%
良性のできもの	2 ( 1- 0- 1)	0.5%
その他	23 (12- 8- 3)	5.2%

P=0.447

# 病名の説明について、どのように伝えておられますか。

計(頻繁 - 他)

## 早期がんの場合

がん	232 (165-67)
悪性腫瘍	82 ( 39-43)
腫瘍	30 ( 8-22)
たちの悪いできもの	35 ( 11-24)
このまま放っておくとがんになる	30 ( 4-26)
良性のできもの	5 ( 0- 5)
その他	19 ( 8-11)

$P < 0.01$

## 進行がんの場合

がん	166 (120-46)
悪性腫瘍	119 ( 59-60)
腫瘍	48 ( 20-28)
たちの悪いできもの	67 ( 24-43)
このまま放っておくとがんになる	12 ( 7- 5)
良性のできもの	2 ( 0- 2)
その他	23 ( 11-12)

$P < 0.01$

# 予後についてはどのように説明しておられますか。

	計(内 - 外 - 他)	
予測できる範囲で説明する。	229 (105-107-17)	52.0%
聞かれれば予測できる範囲で説明する。	170 ( 72- 87-11)	38.6%
わからないという。	24 ( 15- 7- 2)	5.5%
その他	7 ( 2- 4- 1)	1.6%

P=0.749

	計(頻繁 - 他)	
予測できる範囲で説明する。	229 (101-128)	
聞かれれば予測できる範囲で説明する。	170 (111- 59)	
わからないという。	24 ( 13- 11)	
その他	7 ( 5- 2)	

P < 0.01

# 病状や治療についての説明を行う場合、 どのようなメンバーで行っていただけますか。

## 計(内 - 外 - 他)

可能な限りチームで (医師・看護師・MSW・カウンセラーなど)	61 ( 25- 30- 6)	13.9%
医師と看護師	235 (102-113-20)	53.4%
医師のみ	130 ( 65- 61- 4)	29.5%
その他	1 ( 1- 0- 0)	0.2%

P=0.347

## 計(頻繁 - 他)

可能な限りチームで (医師・看護師・MSW・カウンセラーなど)	61 ( 30- 31)
医師と看護師	235 (128-107)
医師のみ	130 ( 69- 61)
その他	1 ( 1- 0)

P=0.949

# 説明を行う場合の場所・環境について どのような配慮をしておられますか。 行っていることに全て をしてください。

	計(内 - 外 - 他)	
静かに話せる場所(面談室)	363 (164-174-25)	82.5%
椅子	122 ( 52- 59-11)	27.7%
面談室の環境(採光・植物・絵等)	19 ( 7- 9- 3)	4.3%
同席者の座る位置	104 ( 49- 46- 9)	23.6%
その他	14 ( 6- 8- 0)	3.2%

P=0.980

	計(頻繁 - 他)
静かに話せる場所(面談室)	363 (189-174)
椅子	122 ( 65- 57)
面談室の環境(採光・植物・絵等)	19 ( 9- 10)
同席者の座る位置	104 ( 59- 45)
その他	14 ( 13- 1)

P=0.098

# 説明を行った後、説明の内容を記載して、その内容を患者・家族に確認してもらって渡す様式がありますか。

院内で規定の様式がある。  
規定の様式はない

計(内 - 外 - 他)

252 (108-125-19) 57.3%

181 ( 88- 81-12) 41.1%

P=0.576

院内で規定の様式がある。  
規定の様式はない

計(頻繁 - 他)

252 (150-102)

181 ( 81-100)

P < 0.01

# 説明後の内容記載、確認、記載した用紙の 複写を渡すなど行っておられますか。

## 計(内 - 外 - 他)

記載はしている。	83 (45-34- 4)	18.9%
内容記載し、記載した用紙を渡している。	181 (70-95-16)	41.1%
患者・家族に内容を確認してもらい、 署名してもらい渡している。	132 (66-60- 6)	30.0%
渡していない	25 (12- 8- 5)	5.7%
その他	3 ( 1- 2- 0)	0.7%

P=0.151

## 計(頻繁 - 他)

記載はしている。	83 (39-44)
内容記載し、記載した用紙を渡している。	181 (95-86)
患者・家族に内容を確認してもらい、 署名してもらい渡している。	132 (65-57)
渡していない	25 (16-9)
その他	3 ( 1-2)

P=0.792

# 貴院における説明後のサポート体制についてどうしておられますか。該当するものに全て をしてください。

計(内 - 外 - 他)

説明後、看護師が患者・家族の理解の状況や質問などについて、再確認。	160 (74-77-9)
翌日などに、説明について質問や要望がないかどうか確認。	120 (56-55-9)
説明時の反応などを、チームでカンファレンスしてサポート。	53 (23-23-7)
特に取り組んでいない。	143 (58-76-9)

P=0.710

36.4%, 27.3%, 12.0%, 32.5%

計(頻繁 - 他)

説明後、看護師が患者・家族の理解の状況や質問などについて、再確認。	160 (85-75)
翌日などに、説明について質問や要望がないかどうか確認。	120 (66-54)
説明時の反応などを、チームでカンファレンスしてサポート。	53 (30-23)
特に取り組んでいない。	143 (79-64)

P=0.990

# 結語

- アンケートは、36% (27/75) の施設から、67.0% (440/657) の医師から回収できた。
- 診療科目では、ほとんど回答内容に差がなかったが、がん患者を扱う頻度の差で、多くの回答内容に差が出た。
- 全体に、かなり積極的に病状説明(がんの告知)をなされているようであるが、伝えた後のfollowを32.5%の医師は取り組んでおらず、十分でない結果となった。